

令和7年度

第2回自己評価報告書

学校法人小倉学園

群馬自動車大学校

## 第2回自己評価 点検・評価（令和7年12月）

### 1 教育理念

自動車に関する最新の知識と技術を修得させ、人間性豊かな整備士を養成し自動車関連業界で活躍できる人財を送り出す。

次のような整備士を養成する。

- (1) 知識・技術・人格を身に付けた整備士
- (2) 向上心を持ち技術革新に対応できる整備士
- (3) 各種資格を取得し接客対応できる整備士

### 2 教育方針

誰からも喜ばれ感謝される魅力ある学校づくりを目指すとともに、社会に貢献できる多くの人財を育成することに挑戦し続ける。

### 3 重点目標

- (1) 募集定員及び内部進学者の確保
- (2) 就職率の向上
- (3) 資格取得率の向上

### 4 評価領域・評価項目・達成状況

(適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1)

#### (1) 教育理念・目標

・教育理念・教育方針・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・教育理念等が社会の要請に的確に対応できるよう適宜検討・見直しを行っているか	4	③	2	1
・教育理念等を達成するための特色ある取組がなされているか	④	3	2	1
・育成人材像は関連企業の人材ニーズに適合しているか	4	③	2	1
・教育理念等を関係企業・団体等へ情報発信しているか	4	③	2	1
・教育理念等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1

#### ① 課題

- ・個々の合わせた学生への対応（学習指導）が継続課題。教職員の研修拡大。
- ・企業様からの卒業生に対しての要望に早期対応が求められる。教務部ですでに検討している。

#### ② 今後の改善方策

- ・時代の変化に合わせ、パーパス、ビジョンを制定したい。
- ・最新の知識と技術に対して習得させるための方策を継続検討していく。

③ 特記事項

なし

(2) 学校運営

- ・教育理念等を達成するための事業計画が策定されているか (4) 3 2 1
- ・各分掌間の連携及び意思決定システムが整備されているか 4 (3) 2 1
- ・コンプライアンス体制が整備されているか 4 (3) 2 1
- ・情報公開が適切になされているか (4) 3 2 1
- ・教職員の確保及び資質向上のための研修等がなされているか 4 (3) 2 1
- ・組織的かつ時宜を得た広報活動が行われているか 4 (3) 2 1
- ・他校にはない特色化を推進しているか (4) 3 2 1
- ・教育活動全般について外部関係者等による評価を実施し活用しているか (4) 3 2 1

① 課題

- ・教職員の計画的な採用が急務。
- ・教職員及び学生のコンプライアンス意識の醸成。

② 今後の改善方策

- ・教職員の確保及び業務内容の負担軽減を図る。

③ 特記事項

- ・今年度から学校経営計画を策定し計画に基づき各部署が「方針と施策」を策定する体制に変更した。

(3) 教育活動

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施がなされているか 4 (3) 2 1
- ・教育課程の編成において企業・関係団体等の意見聴取を行っているか (4) 3 2 1
- ・時代の変化に即応した教材の開発、指導方法の改善等がなされているか 4 (3) 2 1
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準が明確になっているか (4) 3 2 1
- ・一人ひとりの個性・能力に応じた学習指導が行われているか 4 (3) 2 1
- ・資格取得に関する指導体制、カリキュラムにおける体系的な位置づけはあるか (4) 3 2 1
- ・インターンシップ等の実践的な職業教育が体系的に行われているか 4 (3) 2 1

・あいさつ・礼儀等の社会生活に必要な指導が適切になされているか

④ 3 2 1

・企業・大学等と連携した授業が行われているか

④ 3 2 1

① 課題

- ・新しい教材の開発時間の確保。
- ・学生の多様化に対する教員の負担の軽減。

② 今後の改善方策

- ・時代に合った教材の導入

③ 特記事項

なし

(4) 学修成果

・就職率が目標通り達成できているか

④ 3 2 1

・校内進学が目標通り達成できているか

4 3 ② 1

・留年・退学が低減できているか

4 ③ 2 1

・資格・検定取得が目標通り達成できているか

④ 3 2 1

・卒業生の活躍・実績等を在校生の教育に生かしているか

④ 3 2 1

① 課題

- ・内部進学者が目標通り募集できていない。
- ・スクールカウンセラーの受診をはじめ定期的なメンタルチェック、細やかな面談を実施し不安要素の学生への早めのアプローチを実施。

② 今後の改善方策

- ・進学における将来のメリットを入学希望者へ周知させ将来設計へと導く。

③ 特記事項

- ・休学・退学を下げするために様々な手法を考える必要がある。

(5) 学生支援

・進路に関する支援体制が整備されているか

④ 3 2 1

・学生相談に関する体制が整備されているか

④ 3 2 1

・学生に対する経済的な支援体制が整備されているか

4 ③ 2 1

・学生の健康管理に関する体制が整備されているか

4 ③ 2 1

・保護者との連携は適切に行われているか

4 ③ 2 1

- ・ P T A 活動が適切に行われているか 4 (3) 2 1
- ・ 同窓会活動が適切に行われているか (4) 3 2 1
- ・ 企業との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか (4) 3 2 1

① 課 題

- ・ 留学生への経済的支援の強化
- ・ 就職支援に対する教員不足

② 今後の改善方策

- ・ 早期に進路支援の教員の確保
- ・ 同窓会活動の友好的な利用方法の確立

③ 特記事項

なし

(6) 教育環境

- ・ 施設・設備が教育上、必要かつ十分対応できるよう整備されているか 4 (3) 2 1
- ・ 施設・設備が安全管理・防災上、適切に整備されているか 4 (3) 2 1
- ・ 校内の清掃・美化が適切に行われているか 4 (3) 2 1

① 課 題

- ・ 女子トイレが増設
- ・ 設備の老朽化を計画的な設備投資で対応継続中
- ・

② 今後の改善方策

- ・ 施設設備の年次点検の導入を開始
- ・ 2号館大型エレベータを建て替え

③ 特記事項

- ・ 修繕費用とのバランスを考え建て替えを検討

(7) 学生の受入れ募集

- ・ 高等学校等への情報提供は適切に行われているか (4) 3 2 1
- ・ 学生の募集活動は適正に行われているか (4) 3 2 1
- ・ 学生納付金は妥当なものになっているか 4 (3) 2 1

- ① 課題
- ・ 少子化、若者の車離れ
  - ・ 物価高騰が続く中で学費の見直しは喫緊の課題である

- ② 今後の改善方策
- ・ 伊勢崎市をはじめ、県内の各イベントに参加
  - ・ 小中学生などに整備士の魅力を発信

- ③ 特記事項
- ・ 教務部と広報部の連携を更に強める

(8) 地域との連携

- |                             |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| ・ 市や区・町等と連携した活動を行っているか      | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・ 警察、消防署等と連携した活動を行っているか     | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 地元高校・大学・企業等と連携した活動を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

- ① 課題
- ・ 可能な限り地域との連携を図る。

- ② 今後の改善方策
- ・ 伊勢崎市との地域包括連携協定締結を効果的に実施する。

- ③ 特記事項
- ・ 災害時など協力できることを確立

(9) 法令等の遵守

- |                             |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| ・ 関係法令の遵守と適切な運営がなされているか     | ④ | 3 | 2 | 1 |
| ・ 個人情報に関しその保護のための対策がとられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか     | ④ | 3 | 2 | 1 |

- ① 課題
- ・ コンプライアンスの確立

- ② 今後の改善方策
- ・ 人員の確保及び業務の分散
  - ・ 労働環境の改善から意識改善に繋げる

③ 特記事項

- ・教務部を中心にコンプライアンス関連規定の整備時の体制構築を今年度中に進める

(10) 財務

- ・中長期的に財務基盤が安定しているか 4 (3) 2 1
- ・予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか 4 (3) 2 1
- ・会計監査が適正に行われているか (4) 3 2 1
- ・財務の情報公開体制が整備されているか 4 (3) 2 1

① 課題

- ・幹部が予算・収支を見直す

② 今後の改善方策

- ・財務については学園本部と協議中

③ 特記事項

なし

(11) 社会貢献・地域貢献

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 4 (3) 2 1
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか (4) 3 2 1

① 課題

- ・ボランティア活動、地域活動はほとんど休日勤務となっているため出勤体制の調整が必要

② 今後の改善方策

- ・積極的に地域清掃活動等に参加している

③ 特記事項

なし

## 5 重点目標達成についての評価及び総合的な評価結果

### 進路状況・入学生状況報告・国家試験対策状況

2026年3月卒業を迎える学生の進路状況は、100%内定しました。本校独自の1日1社の会社説明会を実施したことで、学生は本当に就職したい企業を見つけ出すことができ、満足度は非常に高い結果を得ることができました。近年問題視されています人手不足の状況は更に厳しさを増して行くことが予想されます。時代の変化や業界の変化に対応できる人材を今後も輩出できるよう、教職員一丸となって学生指導に邁進していきます。国際メカニック科の入学生もコロナショックから回復傾向にあり、学生数も増えてきました。国際メカニック科の学生への進路指導としても、今年度より1日1社の会社説明会を展開しました。昨年度を大幅に越える企業様に説明会に参加していただき、進路活動を実施している状況です。関東地区をはじめ関西方面と幅広く就職活動を実施しており、現在は会社訪問へと次のステップに入りました。全員の就職内定を目指していきます。

来年度の入学状況は、2級自動車整備科の増員が図れたことと、国際メカニック科の定員確保が見込まれております。昨年度を上回る入学生の確保を広報部が日頃の広報活動により成果を上げております。今後は18歳人口の更なる減少を迎える時代に突入しますが、本校の特色を前面に打ち出し他校との比較がわかりやすく高校生、保護者にアピールできるような広報活動を展開し入学生の確保に繋げていきます。

国家試験対策では、年々学生指導が難しくなっておりますが、個々の状況をしっかりと把握して担任を中心に国家試験対策に取り組んでおります。まだ点数の伸び悩んでいる学生も数名おりますが、2級ガソリン、2級ジーゼルの国家試験は今年で最後となりますが、最高の結果として全コース100%の結果が得られるよう全力で取り組みます。

世界的には、EVの普及は引き続き大きな潮流ですが、日本ではまだHV、PHV車の普及が先行している状況です。またAIの進化は日進月歩で急加速しており自動運転の普及が大きく変化していくことになり、ますます自動車整備士の重要性は不可欠なものになっていきます。時代の変化に取り残されないよう、最新の技術の提供ができるよう教職員の質の向上を更に高めていき学生指導にあたります。

記載責任者  
木村 庸夫